

BIO ORGANIC

バイオ・オーガニック工法

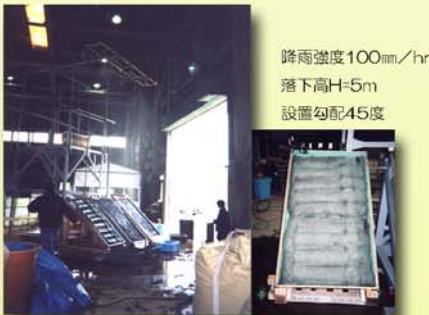
バイオ・オーガニック工法(客土注入マット工法)は、法面上に耐久性に富む特殊袋状マット(ソウケンフォーム)を布設、アンカーピンにて固定後、袋状マット内部に種子・ソウケンオーガ・オーガニック用土を混合、スラリー化したものを客土注入機械で圧送注入する工法です。

バイオ・オーガニック工法の特徴は、袋状マットによる植生基盤の安定にあります。斜面全体を厚みのあるマットで全面被覆する事で、**施工直後から表層浸食を抑制**し安定した法面を提供します。近年の調査では、**安定した植生基盤が周辺植物の侵入を容易にし、自然回復力を高めている**事が明らかになっています。従来困難とされてきた急勾配法面や亀裂の少ない岩盤、表層不安定なシラスマサ土、さらに、モルタル吹付面や湛水面河川護岸など、全国で2200箇所(200万㎡)の植生復元を実現しています。

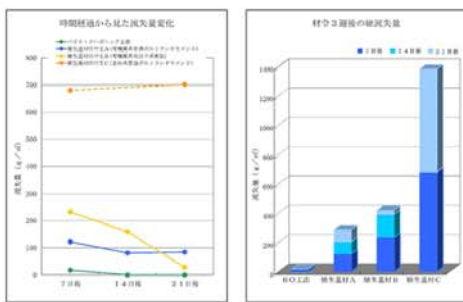
流れない植生基盤

独立法人土木研究所で行われた人工降雨実験では、植生基盤の**安全性は、植生基材吹付工の2.5倍**である事が証明されています。

人工降雨実験：(独)土木研究所



人工降雨実験による生育基盤流失量測定結果



有珠山噴火後の火山泥流対策で採用



崩壊した六甲山腹



防災機能と自然回復力を高める植生復元システム

ソウケンフォーム布設状況



生育基盤材注入状況



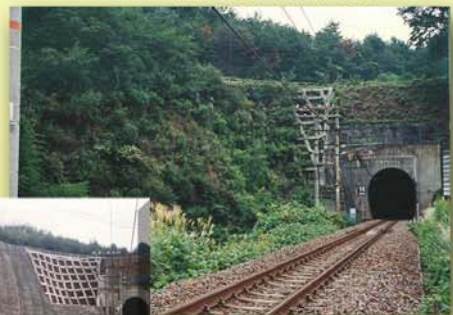
種子を導入せず、周辺植物の自然散布により植生を復元



注入完了



急勾配法面を植生復元



注入完了



阪神・淡路大震災で活躍
崩壊した六甲山腹に緑を再生

